



# Sonata Solo / Solo White / Designer 500 / Plus 550

## User's Manual

Manuel de l'utilisateur

Anwenderhandbuch

Manuale per l'operatore

Manual del usuario

取扱説明書

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがありますが、ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

### 免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

## Sonata Solo / Solo White / Designer 500 / Plus 550

### 超静音ミニタワーケース ユーザーマニュアル

Sonata Solo / Solo White / Designer 500 / Plus 550ケースは、クワイエットコンピューティング (Quiet Computing™) を念頭に設計されています。多くのユニークな機能が、このケースを静音でクールに動作させます。

1. 剛鉄スチール設計(厚さ1.0 mmスチール)
2. ノイズを軽減する二層 (スチール/プラスチック) サイド及びトップパネル
3. 最大のノイズ軽減のためのデュアルHDDマウンティングシステム
4. 静音120mm TriCooI™リアファン
5. HDDのスポット冷却を可能にするデュアル92mmフロントファンマウント
6. フロントベゼル両脇の吸気バントがユーザー側へのノイズの漏れを防止
7. HDDケース裏に設置されたビルトインケーブルオーガナイザーが余分なケーブルをすっきりと整理
8. Sonata Designer 500は、環境にやさしい80PLUS®認証取得の EarthWatts 500W電源を搭載。
9. Sonata Plus 550は、電力供給が向上したモジュラケーブリングのNeoPower 550W電源を搭載。
10. Sonata Solo/Sonata Whiteは、電源未搭載モデルで、お好みのAntec電源を追加することが可能。

### 取り付け

1. ケースを平らで安定した面に、垂直に置きます。
2. 左側のサイドパネルの手回しネジを弛め、サイドパネルを開きながら取り外してください。**備考:** 危険ですので、爪を使ってパネルを取り外したり、持ち上げたりしないでください。
3. ケース内には、電源、USB、PWR等の表記があるコネクタ付のケーブル、取り付け済みのI/Oパネル、電源ケーブル、電源出力モジュラケーブルがある事を確認してください。また、部品袋 (ネジ、スペーサー、プラスチックスタンド、6つのドライブレール等) があることも確認してください。
4. ベゼルの左側のプラスチックタブは、フロントベゼルを金属製のシャーシに留めているものです。上から下へタブを開放しベゼルを取り外してください。
5. ベゼルを45° の角度まで開き、ゆっくりとベゼルを上方へ持ち上げてください。このようにするとフロントベゼルが簡単に取り外せます。取り外したベゼルは、安全な場所に置いてください。

## マザーボードの取り付け

このマニュアルには、CPU、メモリ、その他拡張カードの取り付け方法は含まれておりません。特定のパーツの取り付け方法やトラブルシューティングに関しては、お持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

1. I/Oパネルがお持ちのマザーボードに合っていることを確認してください。予め取り付けられているI/Oパネルがお持ちのマザーボードに合わない場合は、マザーボードメーカーにお問い合わせください。
2. マザーボードをスペーサー用の穴にあわせて置いて下さい。どの穴と一致しているかを覚えておいてください。全てのマザーボードがこれらの穴に一致するとは限りません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。
3. マザーボードを持ち上げ、ケースから出してください。
4. マザーボードの穴に一致した箇所にスペーサーを取り付けてください。スペーサーを強く締めすぎないように注意してください。一部のスペーサーは便宜上、予め取り付けられています。
5. マザーボードをスペーサーの上に置いてください。
6. 同梱されている十字のねじでマザーボードをスペーサーに固定してください。これでマザーボードの取り付けが完了します。

## フロントI/Oの取り付け

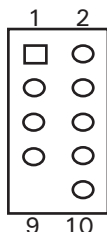
1. リセットスイッチ(RESET SWのラベル付き)を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。これらのスイッチは極性(プラス・マイナス)は関係ありません。
2. 電源スイッチ(POWER SWのラベル付き)を、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
3. 電源LEDコネクタ(POWER LEDのラベル付き)は、リセットコネクタの後方に配置されています。こちらのコネクタもマザーボードに接続します。すべてのLEDコネクタのプラス(+)側の線には色が付けてあります。LEDが点灯しない場合は、極性を入れ替えて接続してみてください。LED接続に関する更に詳しい情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。
4. ハードドライブLED(H. D. D. LEDのラベル付き)をHDDアクティビティコネクタに接続します。

## USBポートの接続

フロントUSBポートに取り付けられているケーブル上には、10ピンコネクタが1つあります。こちらは誤接続を防ぐため、Intel®標準規格マザーボードの正しいヘッダーにのみ接続できる仕組みになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

**備考:** USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確かめてください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

### マザーボードピン レイアウト



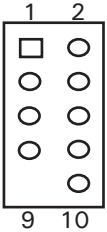
ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

## IEEE 1394 (FireWire®, i.Link®) ポートの接続

フロントIEEE 1394接続に取り付けられているケーブル上にシングル10ピンコネクタがあります。これはIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーに接続されている場合、誤って逆になることがないようにパターンがつけられています。ブロックされたピンが、欠けているヘッダーピンの上にくるように、10ピンコネクタをマザーボードヘッダに接続します。

**備考:** IEEE 1394ヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルを確認し、添付されている表に一致することを確認してください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

マザーボードFireWire ピンレイアウト



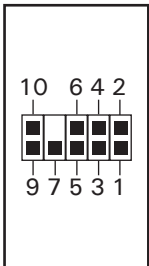
ピン	信号名	ピン	信号名
1	TPA+	2	TPA-
3	接地	4	接地
5	TPB+	6	TPB-
7	+12V (ヒューズ付き)	8	+12V (ヒューズ付き)
9	キー(ピンなし)	10	接地

## オーディオポートの接続 (AC' 97及びHDA)

こちらのケースには、10ピンのAC' 97オーディオのフロントパネルコネクタ及び10ピンのハイディフィニションオーディオ(HDA)が搭載されております。以下の詳細をご参照ください。

**備考:** マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクタの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、ビデオカードのマニュアルをご参照ください。こちらのオーディオ規格は同時使用が不可能ですので、マザーボードの指定するいずれかのオーディオ規格を選択し、接続することでお手持ちのシステムと正しく動作いたします。

オーディオポートのピンレイアウト (HDA及び AC' 97)



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

## EarthWatts™ 500 電源 (Sonata Designer 500 のみ)

EarthWatts (アースワッツ) 電源は、ATX12V version 2.2に準拠しています。この電源は、より安全で信頼性の高い電力をシステムコンポーネントに提供し、優れた効率性により最大で25%まで電力消費を削減します。これにより電気代の節約も可能です。EarthWattsは、電源効率の新基準である「80 PLUS®」認証を受けています。更に様々な保護回路がこの電源には搭載されています。過電圧保護(OVP)、短絡保護(SCP)、電圧不足保護(UVP)、過電力保護(OPP)

Earth Wattsは、ユニバーサルAC入力、アクティブPFCを搭載しています。ユニバーサル入力は、100から240Vの間で自動的に入力電圧を識別するため電圧切り替えの必要はありません。アクティブPFCは、電源の力率を改善し、電力消費の無駄を省くことにより、更に効率的な電力を提供します。

### 取り付け:

こちらの電源は、下位互換性があるため、以前のATXの仕様に対応しています。電源が正しく接続されているか確認するために、EarthWattsにデバイスを接続する前にマザーボード、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

1. 24ピンメインパワーコネクタをマザーボードに接続してください。お持ちのマザーボードが20ピンコネクタを使用する場合は、24ピンコネクタから4ピンを取り外して使用してください。(写真2, 3を参照)

**備考:** 取り外し可能な4ピン部分は、4ピン+12Vコネクタには利用できません。

写真2



写真3



24ピンマザーボード 20ピンマザーボード

2. 8ピンまたは、4ピンコネクタを必要に応じてマザーボードに接続してください。
3. 4ピンモレックスコネクタがあるケーブルが2組あります。このコネクタをモレックスコネクタを使用する周辺機器に接続します。必要に応じてこの作業を繰り返してください。
4. SATAコネクタがあるケーブルが2組あります。このコネクタをSATAドライブに接続します。必要に応じてこの作業を繰り返してください。
5. PCIエクスプレスグラフィックカードコネクタが2つあります。必要に応じて、PCI-E と印がついた側をPCIエクスプレスグラフィックカードに接続してください。**備考:** 詳細については、お手持ちのPCIエクスプレスグラフィックカードのマニュアルをご参照ください。
6. フロッピードライブがある場合は、コネクタの中からフロッピー専用の4ピンモレックスコネクタを探し、フロッピーに接続してください。
7. 電源ケーブルを電源に接続してください。この電源ケーブルは、こちらの製品専用で、他製品との汎用性はありません。

## NeoPower 550 電源 (Sonata Plus 550 モデルのみ)

このケースには、NeoPower 550電源が取り付けられています。ATX12V version 2.2に準拠しています。NeoPower電源は、ユニバーサル入力に対応し、ユニバーサル入力は、100から240Vの間で自動的に入力電圧を識別するため電圧切り替えの必要はありません。アクティブPFCは、電源の力率を改善し、電力消費の無駄を省くことにより、更に効率的な電力を提供します。

また様々なインダストリアルグレードの保護回路が搭載されています。: 過負荷(OPP)、過電圧(OVP)、回路短絡(SCP)、過少電圧(UVP)

## スペシャルクワイエットコンピューティング(Special Quiet Computing™)ファンオペレーション

NeoPower電源は、革新的な設計で通常使用時のノイズを軽減します。また、負荷が上昇した際にも優れたクーリング性能を発揮します。この電源の高効率・低発熱設計により、小型ファンによる冷却が可能になりました。排気ファンは、低回転で静かに熱気を電源外に排出し、発熱が上昇するに従い回転速度が速くなります。

## アドバンストケーブルマネジメントシステム

NeoPowerは、Antecのアドバンスケーブルマネジメントシステムを備えています。これにより必要なケーブルだけを使用することができ、ケーブルの混線をなくし、コンピュータケース内のエアフローを向上させます。パッケージ内には、電源ケーブルとは別に以下のケーブルが同梱されています。(写真1参照)

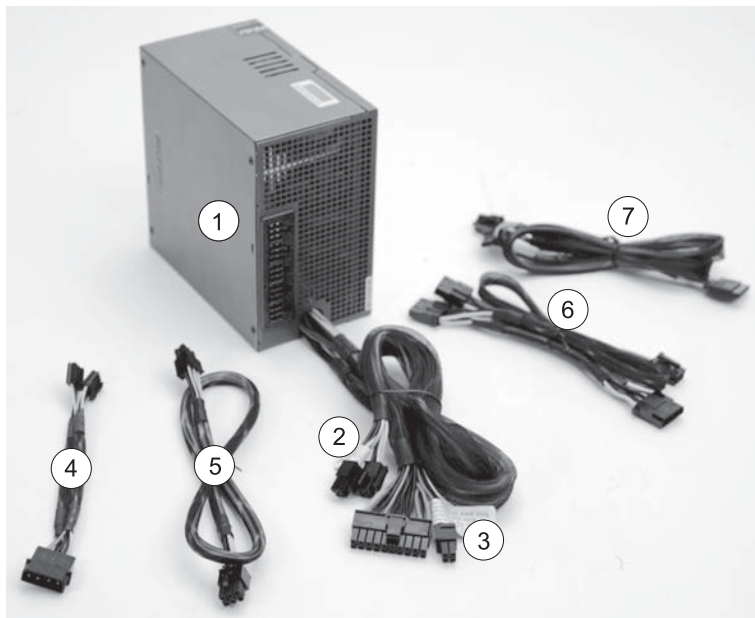


写真1

電源側には、以下のものが搭載されています。

1. 5つの6ピン出力ソケット：HDDや他の周辺機器接続のケーブルセットと一緒に使用します。
2. 4ピン及び8ピンの+12Vコネクタ
3. 1つの24ピンメインパワーコネクタ、4ピンが取り外し可能で20ピンに変更可能

## アドバンストケーブルマネジメントケーブルセット (モジュラーケーブル)

4. Y字アダプター：片方に1つの標準4ピンモレックスコネクタ（周辺機器用）が付き、もう片方に2つのメス型フロッピードライブ電源コネクタが付いたケーブル 1組
5. 片方に6ピンPCIエクスプレスグラフィックカードコネクタともう片方に6ピンの電源接続用コネクタが付いたケーブル 2組
6. 片方に4ピンモレックスコネクタ（周辺機器用）ともう片方に6ピンの電源接続用コネクタが付いたケーブル 2組

7. 片方に2つのSATAコネクタともう片方に6ピンの電源接続用コネクタが付いたケーブル 2組  
**備考:** SATAコネクタは、+3.3V出力を含んでいるため、最新のSATAデバイスにも対応しています。

### モジュラーケーブル:

#	数量	パーツ名	詳細
1-3	1	電源	24ピンメインコネクタ、4+4ピン +12Vコネクタ搭載。
4	1	14 cm ケーブル付き Molex—Floppyコネクタケーブル	1つのモレックスコネクタと2つのフロッピーコネクタを含む。
5	2	60 cm ケーブル付き PCIエクスプレスコネクタ	1つのPCIエクスプレスコネクタを含む。
6	2	77 cm ケーブル付き モレックスコネクタ	3つのモレックスコネクタを含む。
7	2	73 cm ケーブル付き シリアルATAコネクタ	2つのシリアルATAコネクタを含む。

### 取り付け:

こちらの電源は、下位互換性があるため、以前のATXの仕様に対応しています。電源が正しく接続されているか確認するために、NeoPowerにデバイスを接続する前にマザーボード、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

- 24ピンメインパワーコネクタをマザーボードに接続してください。お持ちのマザーボードが20ピンコネクタを使用する場合は、24ピンコネクタから4ピンを取り外して使用してください。(写真2, 3を参照)  
**備考:** 取り外し可能な4ピン部分は、4ピン+12Vコネクタには利用できません。

写真2



写真3



24ピンマザーボード 20ピンマザーボード

- 8ピンまたは、4ピンコネクタを必要に応じてマザーボードに接続してください。
- パッケージの中には、電源—周辺機器モレックスコネクタのケーブルが2組あります。ケーブルバックから必要なケーブルを電源側の6ピンソケットに接続してください。必要に応じてこの作業を繰り返してください。
- パッケージの中には、電源—SATAコネクタのケーブルが2組あります。このケーブルを電源側の6ピンソケットとSATAデバイスに接続してください。必要に応じてこの作業を繰り返してください。

5. パッケージの中には、PCIエクスプレスグラフィックカードコネクターのケーブルが1組あります。このケーブルだけは、3本の黄色の配線と3本の黒色の配線から構成されています。必要に応じて、このケーブルを電源側の6ピンソケットとPCI-E と印がついた側をPCIエクスプレスグラフィックカードに接続してください。**備考**：詳細については、お手持ちのPCIエクスプレスグラフィックカードのマニュアルをご参照ください。
6. フロッピードライブがある場合は、Yアダプターをモレックスコネクタに接続し、メス側のフロッピーパワーコネクタをフロッピードライブに接続してください。
7. 電源ケーブルを電源に接続してください。この電源ケーブルは、こちらの製品専用で、他製品との汎用性はありません。

**パワースイッチ**：こちらの電源には、パワースイッチがついています。コンピュータ自体の電源を入れる前に、パワースイッチがON ( I )の位置になっていることを確認してください。通常の使用では、このスイッチをOFF ( 0 )の位置にする必要はありません。この電源は、お持ちのコンピュータケースに備え付けのソフトスイッチにより電源の入/切の切り替えが可能です。万が一、コンピュータがクラッシュした際やソフトスイッチでは電源が切れない際に、このパワースイッチをOFFの位置に戻す必要があります。

## HDDの取り付け

このケースへのハードディスクの取り付けには、トレイマウントとサスペンションマウントの2通りの方法があります。この2通りの方法を同時に利用することはできません。

ケースを定期的に移動する場合は、トレイマウントの説明に記載されている方法にてHDDをトレイに固定する必要があります。ケースを移動せずに静音性を最大限に重視したい場合には、サスペンションマウントの説明に記載されている方法にてHDDを取り付けてください。

## トレイマウント

5. 25" ドライブ取り付けスペースの真下に、ハードディスクケースがあります。ケース内のトレイを使用して、最大で4つのハードディスクが取り付け可能です。
1. 前述のセットアップの説明にある通り、フロントベゼルを開いてください。
2. 2つの手回しねじを緩め、ファンケースを開き、ゆっくりと上に引き上げて取り外してください。ハードディスクケースの中には、4つのトレイがあり、それぞれにソフトシリコングロメットが付いています。
3. トレイ両側にあるメタルクリップを内側に向かって押しながら、トレイを引き出してください。
4. ドライブトレイにハードディスクを置き、専用のねじでトレイの下からシリコングロメットに固定します。**備考**：ねじを締めすぎるとシリコングロメットの振動吸収と騒音吸収を妨げますのでご注意ください。
5. トレイをハードディスクケースにロックがかかるまで押し入れてください。
6. 適切なパワーコネクタをハードディスクに接続してください。
7. ハードディスクの数に応じて、この作業を繰り返してください。
8. フロントファンケースをケースに取り付けてください。オプションの92mmケースファンをご利用になる場合は、ここで取り付けを行ってください。ファンの取り付けに関しては、クーリングの該当箇所をご参照ください。

## サスペンションマウント

こちらは、ハードディスクの騒音を低減する究極のマウンティング方法です。ハードディスクケースの中には、3台のハードディスクを取り付けるために3組のゴム製サスペンダーを搭載しています。1台のハードディスクを取り付けるためには1組（フロント、リアで2個）のサスペンダーが必要です。**備考:** こちらのサスペンションマウントを利用した状態で、配送、持ち運び等をしないでください。ハードディスクがサスペンダーから外れ落ちたり、ハードディスクやその他の周辺機器にダメージを与える危険性があります。

1. ハードディスクケースからトレイを取り外してください。トレイは使用しませんので、安全な場所に保管してください。
2. ないようにゴム製のサスペンダーをねじり、3つの輪ができるように設置してください。
3. フロントベゼル側からハードディスクをフロントサスペンダーに通してください。（真中の輪に通してください。）
4. リアサスペンダーをフロントと同様にねじり、ハードディスクを通して取り付けてください。
5. フロントファンの位置から最低でも10mm以上離して設置してください。（フロントファンは別売りオプションです。）
6. 適切なパワーコネクタをハードディスクに接続してください。
7. ハードディスクの数に応じて、この作業を繰り返してください。
8. フロントファンケースをケースに取り付けてください。オプションの92mmケースファンをご利用になる場合は、ここで取り付けを行ってください。ファンの取り付けに関しては、クーリングの該当箇所をご参照ください。

## 5.25" デバイスの取り付け

このケースには、4つの5.25" ドライブベイが搭載されています。（1つには、5.25" から3.5" への変換アダプターが付属しています。）上から2つのベイは、ユニバーサルドライブドアが付いています。これにより、フロントドアの後ろに光学ドライブ等を覆い隠すことができます。

1. ドライブベイを塞いでいる金属製のプレートを慎重に取り外してください。
2. プラスティック製ドライブレールを5.25" デバイスのそれぞれの側面に取り付けてください。ドライブレール端のメタルクリップが正面から見て外側に開いているように設置してください。上から2つのドライブベイでは、ドライブレール上のネジ穴は後部にあるものを使用してください。下から2つのドライブベイでは、ドライブレール上の前部のネジ穴を使用してください。
3. ロック音が聞こえるまで、デバイスをドライブベイに押し入れください。
4. デバイスの台数に応じ、この作業を繰り返してください。
5. それぞれのデバイスに電源から出ている4ピンコネクタを取り付けてください。

## 外付け3.5" デバイスの取り付け

フロッピーディスクドライブやその他の3.5" デバイスを5.25" から3.5" への変換アダプターを使用し取り付ける方法:

1. アダプターを引き出してください。
2. デバイスを同梱されているネジを使用して、アダプターに取り付けてください。
3. フロッピー用の4ピンパワーコネクタをデバイス側のメス4ピンコネクタに接続してください

## ケーブルオーガナイザー

ドライブケースの側面には、合計で6つのフック状のケーブルオーガナイザーが取り付けられています。エアフローを改善するために、これらを利用し、ケーブルをまとめることができます。こちらのケーブルオーガナイザーを利用するには、右側のサイドパネルを開いてください。

## クーリングシステム

### TriCool™ファン:

このケースの後部には、1つの120mm TriCool™ファンが取り付けられています。このファンには、ファンの回転速度を3段階で選択することができるスイッチが付属しています。静音、パフォーマンス、最大冷却の3段階の選択が可能です。(以下の詳細をご参照ください。)こちらのファンは、ケース内の空気を排気するように取り付けられています。電源からの4ピンコネクタをファン側のオス4ピンコネクタに接続してください。

**備考:** 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールやFan-Onlyコネクタを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCool™をMedium(パフォーマンス)あるいはLow(静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCool™の回路にて5V以下になることがあります。

### 詳細:

サイズ: 120 x 120 x 25.4 mm

定格電圧: DC 12V

動作電圧: 10.2V ~ 13.8V

スピード	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 2000RPM	0.24A (最大)	2.24 m <sup>3</sup> / min (79 CFM)	2.54 mm-H <sub>2</sub> O (0.10インチ- H <sub>2</sub> O)	30 dBA	2.9 W
中 1600RPM	0.2A	1.59 m <sup>3</sup> / min (56 CFM)	1.53 mm-H <sub>2</sub> O (0.06インチ- H <sub>2</sub> O)	28 dBA	2.4 W
低 1200RPM	0.13A	1.1 m <sup>3</sup> / min (39 CFM)	0.92 mm-H <sub>2</sub> O (0.04インチ- H <sub>2</sub> O)	25 dBA	1.6 W

### フロント92 mmファンマウント

内蔵3.5”ドライブの前にあるファンケースには、2つの92mmファンを取り付けることができます。こちらは、ケース内に空気を取り込むために必ず必要になります。Antecでは静音パフォーマンスに優れ、最大限の冷却を実現する92mm TriCool™ファンをお勧めします。商品詳細については、ウェブサイトをご覧ください。 **備考:** ファンスピードは賢く選択してください。多くの場合、mediumあるいはlowスピードであっても十分に必要な冷却力を提供できます。

## 水洗い可能なエアフィルター

92mmファンケースの前部には、水洗い可能なエアフィルターが取り付けられています。定期的にフィルターの洗浄が必要です。フィルターの洗浄を行わないと、ケース内の温度が上昇し、システムの安定性に影響があることがあります。御使用当初は、月に一回フィルターを確認されることをお勧めします。洗浄の頻度は、システムの利用頻度及び利用環境により異なります。(常時システムが稼動している場合は、その他の場合と比較し、さらにフィルターの確認及び洗浄が必要になります。)

**Antec, Inc.**

47900 Fremont Blvd.  
Fremont, CA 94538  
USA  
tel: 510-770-1200  
fax: 510-770-1288

**Antec Europe B.V.**

Stuttgartstraat 12  
3047 AS Rotterdam  
The Netherlands  
tel: + 31 (0) 10 462-2060  
fax: + 31 (0) 10 437-1752

**Customer Support:**

**US & Canada**

1-800-22ANTEC  
customersupport@antec.com

**Europe**

+ 31 (0) 10 462-2060  
europe.techsupport@antec.com

**[www.antec.com](http://www.antec.com)**